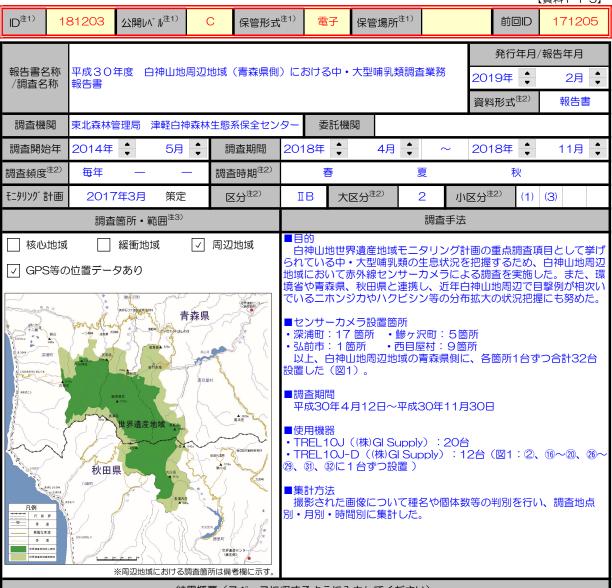
【資料1-1-5】



結果概要(スペースに収まるように入力してください)

撮影された動物の個体数を集計したところ、全調査地点で合計1,814個体、そのうち哺乳類は1,721個体であった(表 最も個体数が多かった種はタヌキの314頭で、次いでアナグマ298頭、カモシカ232頭、ニホンザル182頭、ハクビシン

159頭と続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類14種、鳥類6種であった。 撮影個体数が特に多かった調査地点としては、⑩:169個体、⑩:144個体、⑩:127個体などが挙げられる。種数について見ると、⑭・⑩:11種と最大で、次いで卿・⑪:10種という結果になった。

ニホンジカについては、8箇所から合計12頭が撮影され、調査地点®では2頭が連なって撮影された。性別は全てオスで、メ スは確認されなかった。外来種については、分布拡大が懸念される種のハクビシンが17箇所から合計159頭撮影された。







ニホンジカ 32頭 (⑥:10月13日)

問い合わせ

ニホンジカ (30:10月17日)

ハクビシン (29:9月6日)

東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町25-2 TEL:0173-72-2931 FAX:0173-72-2932

≪原本(データ)の帰属について≫

「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。 注1)

- 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
- 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

